

アルゴリーク  
**AlgoLeak**

**AlgoLeak LEAK ANALYZER**

ユーザーマニュアル

## 法的情報

© Airmore Co., Ltd. 禁・無断複製。

### 本マニュアルについて

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。このマニュアルの最新版は、**株式会社エアモア Web サイト** (<https://n-airmore.com/>) でご確認ください。

本マニュアルは、本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導・支援を受けた上でご使用ください。

### 商標

**AlgoLeak** およびその他の **AlgoLeak** の商標とロゴは、様々な裁判管轄地域における **AlgoLeak** の所有物です。

言及されているその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。




### 免責事項

適用法で認められる最大限の範囲で、本マニュアルおよび説明されている製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、[現状のまま]および[すべての欠陥とエラーがある]状態で提供されます。AlgoLeak では、明示あるいは黙示を問わず、商品性、満足な品質、または特定目的に対する適合性などを一切保証しません。本製品は、お客様の自己責任においてご利用ください。AlgoLeak は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データの損失、システムの障害、文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、それが契約に対する違反、不法行為(過失を含む)、製品の責任または製品の使用に関連するものであっても、たとえ AlgoLeak がそうした損害および損失について通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。お客様は、インターネットにはその性質上固有のセキュリティリスクがあることを了解し、異常動作、プライバシーの流出、またはサイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染等のインターネットセキュリティリスクによる損害について、**AlgoLeak** は一切責任を負いません。ただし、必要に応じて **AlgoLeak** は適時技術的サポートを提供します。お客様には、すべての適用法に従って本製品を利用し、さらにご自分の利用法が適用法を順守していることを確認する責任があります。特に、肖像権、知的財産権、またはデータ保護等のプライバシー権を非限定的に含むサードパーティの権利を侵害しない手段で本製品を利用する責任があります。大量破壊兵器の開発や生産、化学兵器・生物兵器の開発や生産、核爆発物や危険な核燃料サイクル、または人権侵害に資する活動を含む、禁じられている最終用途の目的で本製品を使用してはなりません。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

## 記号の定義

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号の	説明
 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性のある危険な状況を示します。
 注意	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
 メモ	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。

## 目次

第 1 章 はじめに	1
1.1 動作環境	4
第 2 章 クライアントのインストール、アップグレード、およびアンインストール	5
2.1 ソフトウェアのインストール	5
2.2 ソフトウェアのアップグレード	5
2.3 ソフトウェアのアンインストールまたは変更	5
第 3 章 クライアント設定	7
3.1 言語を切り替え	7
3.2 単位の設定	7
3.3 ユーザーヘルプ	7
3.3.1 ユーザーマニュアルの表示	7
3.3.2 バージョン情報	8
第 4 章 画像分析	9
4.1 画像のインポート	9
4.2 画像の調整	10
4.2.1 音響パレット	10
4.2.2 視覚画像のグレースケールを設定する	10
4.3 音響分析	10
4.3.1 ウィンドウの移動：部分放電	11
4.3.2 ウィンドウの移動：ガス漏れ	12
4.4 注釈の表示と編集	17
4.4.1 テキスト注釈	17
4.4.2 タグ注釈	17
4.5 画像の保存	19

## 第 1 章 はじめに

クライアントは、音響イメージングカメラでキャプチャーした画像を表示および分析するために使用されます。

アコースティックカメラは、プロ向けの音響検出および画像化製品として、産業環境でのガス漏れや部分放電インシデントを簡単に特定できます。

クライアントは、問題や潜在的なリスクを検出して特定するために音響画像を分析します。これは、トラブルシューティングのコストやデバイスの故障による追加コストの削減に役立ちます。


### 1.1 動作環境

以下に、クライアントをインストールする際の推奨動作環境を示しました。

- オペレーティングシステム
  - Microsoft Windows 7 / Windows 8.1 / Windows 10 (64 ビットオペレーティングシステム)
  - Windows サーバー (64 ビット OS)
- CPU : i5-4590 以上
- RAM : 4G 以上
- グラフィックスカード : RADEON X700 シリーズ 256M 以上

## 第2章 クライアントのインストール、アップグレード、およびアンインストール


### 2.1 ソフトウェアのインストール

ソフトウェアインストールパッケージを開き、をダブルクリックしてセットアップを実行し、ポップアップウィンドウで**使用許諾の条項に同意します**をクリックします。要件に応じて、**ワンクリックインストール**または**カスタマイズ**を選択します。

#### ワンクリックインストール

ソフトウェアはデフォルトでパス **C:\Program Files** にインストールされます。

#### カスタマイズインストール

をクリックして、インストールパスを選択します。

インストールが完了したら、必要に応じて**デスクトップアイコンの作成**にチェックを入れます。


### 2.2 ソフトウェアのアップグレード

#### 始める前に

以前のバージョンがインストールされています。

ソフトウェアをアップグレードする前に、ソフトウェアの動作が停止していることを確認してください。

#### ステップ

- 1.ソフトウェアインストールパッケージを開き、をダブルクリックしてセットアップを実行します。
- 2.ポップアップウィンドウで**アップグレード**をクリックします。

#### メモ

ソフトウェアは、以前のバージョンと同じパスでアップグレードされます。

#### 次にすべきこと


アップグレードが完了したら、必要に応じて**デスクトップアイコンの作成**にチェックを入れます。

## 2.3 ソフトウェアのアンインストールまたは変更

### 始める前に

ソフトウェアをアンインストールまたは変更する前に、ソフトウェアの動作が停止していることを確認してください。


### ステップ

1. Windows オペレーティングシステムで、 > コントロールパネル > 手順と機能をクリックします。
2. **LEAK Analyzer** を右クリックしてアンインストール/変更を選択するか、**LEAKAnalyzer** をダブルクリックします。
3. ポップアップウィンドウで次を選択します：
  - アンインストール。
  - 変更。アンインストールまたは変更が完了すると、プロンプトがポップアップ表示されます。

## 第3章 クライアント設定

### 3.1 言語を切り替え

#### ステップ

1. 右上にある  > [設定] をクリックして [言語] を選択します。



新しい言語はクライアントを再起動後に有効になります。

### 3.2 単位の設定


距離単位、通貨など、クライアント全体に適用される単位を設定します。  
単位を設定するには、右上にある  > [設定] に移動します。

単位	説明
通貨	ガス漏れの推定コストが計算され、設定された通貨で表示されます。
距離単位	表示に使用する距離単位を設定します。
圧力単位	検出するターゲットの圧力系に応じて設定します。
漏出率単位	ガス漏出率表示の単位。分析で使用します。
漏出コスト時間単位	期間内のコストを計算する単位。推定コストの表示に関係します。


### 3.3 ユーザーヘルプ

クライアントのユーザーマニュアル、バージョン情報を表示したり、テクニカルサポートの連絡先を確認したりできます。

#### 3.3.1 ユーザーマニュアルの表示

右上にある  をクリックすると、マニュアルが表示されます。

### 3.3.2 バージョン情報

右上にあるをクリックすると、クライアントのバージョン番号、オープンソースライセンスなどが表示されます。

## 第4章 画像分析

この章では、音響画像を分析する手順と操作を紹介します。  
分析の主な手順は次のとおりです。

1. 分析用に画像をインポートします。「[画像のインポート](#)」を参照してください。
2. 音源の位置をより正確に特定して表示するために、視覚画像のグレースケールと音響パレットの影響を調整します。「[画像の調整](#)」を参照してください。
3. 画像の音響情報を確認し、検出および計算パラメーターを調整して詳細に分析します。「[音響分析](#)」を参照してください。

---

### メモ

このクライアントバージョンでは、

- 部分放電検出の検出結果を確認できますが、詳細に分析することは現在サポートされていません。
- ガス漏れ検出のいくつかの検出およびコスト計算パラメーターを編集して詳細に分析できます。

- 
4. 画像の注釈を確認して編集します。「[注釈の表示と編集](#)」を参照してください。
  5. 編集した画像を1つ保存するか、画像を一括で保存します。「[画像の保存](#)」を参照してください。

### 4.1 画像のインポート

音響画像をソフトウェアにインポートして分析できます。

#### ステップ

1. 左上隅の[インポート]をクリックします。
2. インポートする1つまたは複数の音響画像を選択します。
  - 単一の画像をインポートする: 選択した画像をクリックし、**開く**を選択します。
  - 複数の画像をインポートする: **ctrl** キーを押しながら複数の画像をクリックし、**開く**を選択します。

---

### 注意

**shift** キーを押しながら画像をクリックすると、連続して画像を選択できます。

---

#### 結果

インポートされた音響画像が左側のパネルに表示されます。

## 4.2 画像の調整

画像の調整には、視覚画像のグレースケール、および音響パレットの色の組み合わせ、不透明度、サイズの変更が含まれます。

### 4.2.1 音響パレット

音響パレットとは、視覚画像上に重ねて表示される、検知された音源の位置と強度を示した色つきの形状のことです。パレットの色、不透明度、パレットの強度範囲を調整することができます。

#### パレットの色の設定

右上にあるドロップダウンリストからパレットのタイプを選択します（[図 4-1](#)を参照）。

#### 音響パレットの不透明度を調整する

音響パレットの不透明度を調整して、ターゲットの詳細を表示できます。右上のパーセンテージをクリックし、スライダーをドラッグして不透明度を調整します。

#### 音響パレットの音響強度の調整

音響パレットは、表示する音響強度の範囲を表す色の連続体です。必要に応じてスライダーをドラッグして、音響強度の範囲を調整します（[図 4-1](#)を参照）。音響パレットのサイズは調整に応じて変わります。

### 4.2.2 視覚画像のグレースケールを設定する

グレースケール画像を有効にすると、カラーの視覚画像が白黒に変化します。白黒の視覚画像では、カラー画像よりも音響パレットが目立つため、観察が容易になります。右上のグレースケール画像のオン/オフを切り替えます。

## 4.3 音響分析

画像の音響分析結果を表示し、特定の画像タイプのパラメーターを調整して詳細に分析します。

このクライアントバージョンは、部分放電（PD）およびガス漏れ（LD）検出の結果表示、およびLD インシデントの詳細な分析とコスト計算をサポートします。

#### 部分放電検知（PD）

検出された音源の基本的な音響情報（選択した周波数範囲、サンプリング距離など）を表示します。

有効な部分放電タイプを表示します。

音源のシグナル、FFT、および PRPD 図を表示します。

## ガス漏れ検知 (LD)

検出された音源の基本的な音響情報（選択した周波数範囲、サンプリング距離など）を表示します。

音源のシグナルおよび FFT を表示します。

サンプリング距離、検査対象システムの圧力、漏れタイプ、ガス漏れモードなどを表示および編集して、詳細に分析およびコスト計算を行います。

### 4.3.1 ウィンドウの移動：部分放電



図 4-1 ウィンドウの移動

1. 画像のインポート：分析用に音響画像をインポートします。インポートされた画像はウィンドウの左側のパネルにリストされます。
2. アクティブ画像パネル：分析中の画像を表示します。
3. グレースケール画像：グレースケール画像機能を有効化/無効化します。
4. 音響パレット：ドロップダウンリストから音響パレットの色を選択します。
5. 音響パレットの不透明度。
6. 画像情報：画像名、作成時間など
7. 画像の注釈：タグの注釈とテキストの注釈を表示および編集します。
8. 分析結果：部分放電分析の一般的な音響情報を表示します。
9. 強度範囲：表示される音響パレットの強度範囲。

10. 図: シグナル、FFT および PRPD。図のウィンドウの上端をドラッグしてサイズを調整します。
11. 保存と一括保存: 画像保存コントロール。
12. レポート: 1つの画像または複数の画像の分析レポートを一括でエクスポートします。

## 4.3.2 ウィンドウの移動: ガス漏れ

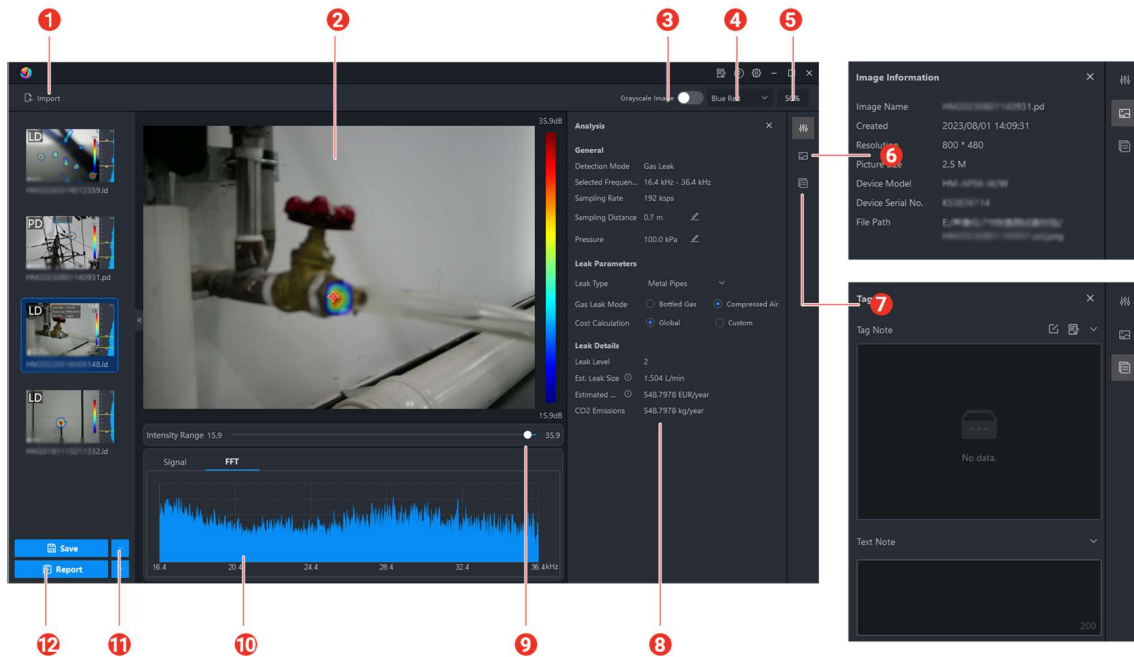




図 4-2 ウィンドウの移動

1. 画像のインポート: 分析用に音響画像をインポートします。インポートされた画像はウィンドウの左側のパネルにリストされます。
2. アクティブ画像パネル: 分析中の画像を表示します。
3. グレースケール画像: グレースケール画像機能を有効化/無効化します。
4. 音響パレット: ドロップダウンリストから音響パレットの色を選択します。
5. 音響パレットの不透明度。
6. 画像情報: 画像名、作成時間など
7. 画像の注釈: タグの注釈とテキストの注釈を表示および編集します。
8. 分析結果: ガス漏れ分析の一般的な音響情報を表示します。検出パラメーターを編集し、コスト計算を実行します。手順については、「ボンベ入りガスの漏れとコスト計算」および「圧縮空気の漏れとコスト計算」を参照してください。

 **メモ**

漏れ量は推定値であり、検出距離の精度、騒音、検出角度など、さまざまな要因の影響を受けます。推定値は実際の値と異なる場合があります。推定漏れコストは漏出率に基づいて計算され、参考目的でのみ使用されます。

9. 強度範囲：表示される音響パレットの強度範囲。
10. ：シグナルおよび FFT。のウィンドウの上端をドラッグしてサイズを調整します。
11. 保存と一括保存：画像保存コントロール。
12. レポート：1つの画像または複数の画像の分析レポートを一括でエクスポートします。

## ボンベ入りガスの漏れとコスト計算

ボンベ入りガスの漏出率検出は、サンプリング距離、システム圧力、漏れタイプなどの要因の影響を受けます。要因を調整して、漏出率と漏れレベルを微調整します。ボンベ入りガスのコストは、ガス料金と漏出率の積に等しくなります。


### 始める前に

 **注意事項**


ボトルガスのコスト = ガス価格 \* リーク率

### ステップ

1. **Analysis (解析) パネル** (アクティブ画像パネルの右側) で、**ガス漏れモード**をボトル入りガスに設定する。
2. 検出精度を上げるため、**ガス漏れ検知パラメータ**を調整します。


パラメータ	設定 パス	設定 パス
サンプリング距離	音は媒体中を伝搬する際、距離が長くなるほど音の強度が低下します。	<b>サンプリング距離</b> の右側にある  をクリックし、距離を調整する。
圧力	点検（検査）対象の容器または配管の圧力です。	<b>圧力</b> の右側にある  をクリックし、パラメータを調整する。
リークタイプ	漏れ箇所が疑われる位置（状況）に応じて、漏れタイプを設定します。	<b>リークタイプ</b> の右側にあるドロップダウンメニューをクリックし、タイプを選択します。

## 注

- 距離単位・圧力単位・漏れ率 (Leak Rate) 単位は、 > **Preference** で変更できません。
- 旧ファームウェア (V5.5.79 より前) の音響カメラで撮影した画像については、**サンプリング距離**、**圧力**、**リークタイプ**は変更できません。画像の取り込みと解析に関する新機能を利用するには、カメラを最新バージョンにアップグレードしてください。


リーク率の数値変化を確認してください。

3. リークレベルを調整する。数値が大きいほど、漏れがより深刻であることを示します。

リーク詳細」に表示されるリークレベルは、「 > リークレベル」のレベル設定に従って変換された数値です。

リークレベルの数値変化を確認してください。

4.  > **Preference > Leak Cost Time Unit** でコスト計算の期間を調整してください。
5. リークコストを得るために**ガス単価**を調整する。

- 1) **ガス料金**の単位を設定します。これは通貨とリーク率単位に依存します。 > **Preference** で調整してください。


### 例

**Currency** を **EUR-Euro** に設定し、**Leak Rate Unit** を **L/min** に設定した場合、**Price of Gas** の単位は **EUR/L** となります。

- 2) **変数** ペインでモードを選択します。

- **Global**: すべての画像の計算に使用するガス単価を設定します。
- **カスタム**: カスタム: 現在の画像の計算にのみ適用されるガス単価を設定します。

- 3) **ガス単価**の値を調整します。

- **Global**:  > **Bottle Gas Parameters** からボックスに値を入力し、**Save** をクリックします。
- **カスタム**: カスタム: カスタムモードの下にある入力欄に値を入れます。

設定後、**推定コスト**で金額を確認します。

## 圧縮空気の漏れとコスト計算


圧縮空気の漏れによって発生するリークコストは、エアーコンプレッサーのエネルギーの無駄です。リーク率、エアーコンプレッサーの比出力、電気料金などの要因に影響されません。検出されたリーク率は、サンプリング距離、検査システムの圧力、リークタイプなどの要因に影響されます。パラメータを調整して、リーク率、レベル、推定コストを再分析

します。


## 手順

1..**Analysis (解析)** パネル (アクティブ画像パネルの右側) で、**ガス漏れモード**を**圧縮空気**として設定します。



2. 圧縮空気リークのパラメータに単位を設定する。

1)  > **Preference** に進み、単位を調整する。


2) **Save (保存)** をクリックして設定を確定する。

3)  をクリックして設定ウィンドウを閉じます。

3. ガス漏れ検出パラメータを調整して、検出精度を高めます。

パラメータ	設定パス	設定 パス
サンプリング距離	音は媒体中を伝搬する際、距離が長くなるほど音の強度が低下します。	<b>Sampling Distance</b> の右側にある  をクリックし、距離を調整する。
圧力	検査された容器または配管の圧力。	<b>圧力</b> の右側にある  をクリックし、パラメータを調整する。
リークタイプ	漏れの疑いがある場所に応じて漏れのタイプを設定します。	<b>リークタイプ</b> の右側にあるドロップダウンメニューをクリックし、タイプを選択します。

## 注

- 距離単位、圧力単位、漏れ率単位は、 > **Preference** で変更できます。
- 初期のファームウェアバージョン (V5. 5. 79 より前のバージョン) の音響画像カメラで撮影された画像では、**サンプリング距離**、**圧力**、**リークタイプ**は変更できません。画像の取り込みと解析に関する新機能を利用するには、カメラを最新バージョンにアップグレードしてください。

リーク率の数値変化を確認してください。

4. リークレベルを調整する。数値が大きいほど、漏れがより深刻であることを示します。

リーク詳細]に表示されるリークレベルは、 > [リークレベル]のレベル設定に従って変換された数値です。

リークレベルの数値変化を確認してください。


5. 必要なエアコンプレッサパラメータに従って計算式を選択する。 > **Compressed Air Parameters (圧縮空気パラメータ)** > **Calculation Formula (計算式)** に進みます。

表 4-1 圧縮空気リークの推奨計算式

すでに知られている/利用可能なパラメータ	推奨式
エアコンプレッサー比出力 (Y)	式 1 リークコスト = $T \cdot X \cdot Y \cdot A$ CO2 排出量 = $T \cdot X \cdot Y \cdot B$
<ul style="list-style-type: none"> <li>● エアコンプレッサー吐出流量 (Q)</li> <li>● エアコンプレッサーの消費電力 (P)</li> </ul>	計算式 2 リークコスト = $T \cdot X \cdot P \cdot A / Q$ CO2 排出量 = $T \cdot X \cdot P \cdot B / Q$
<ul style="list-style-type: none"> <li>● エアコンプレッサー出力圧力 (P)</li> <li>● エアコンプレッサーのモーター効率 (<math>\eta</math>)</li> </ul>	式 3 リークコスト = $T \cdot (p \cdot X \cdot A) / (\eta \cdot 60)$ CO2 排出量 = $T \cdot (p \cdot X \cdot B) / (\eta \cdot 60)$

表 4-2 コスト算定式におけるパラメータの説明

計算式	パラメータ	説明
すべての計算式	<b>T</b>	1日/月/年あたりのエアコンプレッサーの稼働時間。その単位はリークコスト時間の設定に連動します。
	<b>X</b>	対象のリーク率。自動測定値。単位はリーク率単位による。
	<b>A</b>	1kWhの電気料金。単位は「通貨」によります。
	<b>B</b>	1kWhあたりのCO2排出量（電力からの二酸化炭素排出量）。地域の電力会社のCO2排出係数を参照して設定します。
計算式 1 リークコスト = $T \cdot X \cdot Y \cdot A$ CO2 排出量 = $T \cdot X \cdot Y \cdot B$	<b>Y</b>	コンプレッサの比出力。 一定圧力条件で「どれだけの流量を作るのに、どれだけの入力（電力）が必要か」を表す指標で、効率の目安になります。 通常はコンプレッサの仕様書に記載されています。
式 2	<b>P</b>	エアコンプレッサーの消費電力（単位：

計算式	パラメータ	説明
リークコスト = $T \cdot X \cdot P \cdot A / Q$ CO2 排出量 = $T \cdot X \cdot P \cdot B / Q$	Q	kW)。 エアコンプレッサー吐出流量。エアコンプレッサーが吐出する空気量を示す。
式 3 リークコスト = $T \cdot (p \cdot X \cdot A) / (\eta \cdot 60)$ CO2 排出量 = $T \cdot (p \cdot X \cdot B) / (\eta \cdot 60)$		
	η	コンプレッサーのモーター効率。

 注

- エアコンプレッサ比出力 (Y) とエアコンプレッサ吐出流量 (Q) の単位は、リーク率単位による。
- エアコンプレッサ吐出圧力 (p) の単位は、圧力 (Pressure) と一致する。

6. コスト計算パラメータの値を右の入力欄で設定する。

 注

式 1 が選択された場合、電気単価 (Price of Electricity) と比出力 (Y) を個別に変更できます。

7. **Save** をクリックして設定を確定します。

8.  をクリックして設定画面を閉じます。


**Estimated Cost** で金額を確認します。

## 4.4 注釈の表示と編集

画像にはクライアントで読み取りおよび編集可能なユーザーの注釈が添付されている場合があります。

### 4.4.1 テキスト注釈


テキスト注釈は、ユーザーが自由に入力できる情報です。

アクティブ画像パネルの右側にある  を選択すると、注釈が表示されます (図 4-1 を参照)。**[テキスト注釈]** フィールドにテキストを入力または編集します。

## 4.4.2 タグ注釈

レポートで大量の追加情報が必要な場合は、タグ注釈を追加および設定することができます。現在、この機能は画像でのみサポートされています。












### タグ注釈テンプレートの管理

1. クライアントの右上にあるをクリックし、「タグ注釈テンプレート設定」ウィンドウを開きます。

#### メモ

デフォルトのテンプレートファイル名は、**General.json**になります。

2. ウィンドウの右上にある**新規**をクリックし、新しいテンプレートを作成します。テンプレート名を入力し、**確認**をクリックします。  
作成したテンプレートがテンプレートリストに表示されます。
3. 作成したテンプレートを選択し、右側にある**編集**をクリックします。

アイコン	機能
	新しいカテゴリを追加します。
 /  / 	カテゴリタイプを単一選択項目、複数選択項目、またはテキストとして設定します。
	カテゴリタイプを設定したら、対応するカテゴリの選択項目またはテキストを追加します。 単一選択項目カテゴリまたは複数選択項目カテゴリの場合は、選択項目を選択して  /  をクリックすることで、選択項目を上下に移動できます。
	カテゴリ、選択項目、またはテキストを選択して  をクリックすると、コンテンツを編集することができます。カテゴリ、選択項目、またはテキストをダブルクリックしてコンテンツを編集することもできます。
	 をクリックして、フォールトトレートを追加します。フォールトトレートのカテゴリを編集することはできません。

4. テンプレートを設定したら、**保存**をクリックします。保存したテンプレートは、画像分析に使用できます。

#### メモ

追加したテンプレートとデフォルトテンプレートは、削除したり、名前を変更したりできます。

タグ注釈テンプレートは、必要に応じてインポートやエクスポートが可能です。

## タグ注釈テンプレートのローカルでの管理


デフォルトテンプレートと新しく追加したテンプレートは、所定のパス

(Public\ALGOLEAK Analyzer\TextRemarkTemplate) に保存されます。ローカル PC でテキストエディタを使用して、テンプレートを追加および設定することもできます。

JSON 形式で関連プロトコルに準拠しているテンプレートファイルは、クライアントによって自動的に読み取られます。テンプレートリストは、「タグ注釈テンプレート設定」ウィンドウを再び開くか、テンプレートを追加/削除/インポートすると更新されます。


## 画像のタグ注釈の設定



「分析」ページでは、現在の画像に追加されたテンプレートを選択することも、画像専用のタグ注釈を直接設定することもできます。画像専用のタグ注釈が設定されており、それを別の既存のテンプレートに置き換える場合、設定されているタグ注釈の情報は上書きされて失われます。詳細については、「[単一画像のタグ注釈の設定](#)」を参照してください。

[分析]ページの右側で、をクリックします。タグ注釈の設定方法については、「[タグ注釈テンプレートの管理](#)」を参照してください。

## タグ注釈の設定

### 単一画像のタグ注釈の設定

「注釈」パネルでは、単一画像のタグ注釈コンテンツおよびテンプレートの設定がサポートされています。をクリックして、設定を画像に保存します。

-  : タグ注釈の内容を編集します。編集が終わったら、**保存**をクリックします。
-  : タグ注釈テンプレートを変更します。タグ注釈の管理の詳細については、「[タグ注釈](#)」を参照してください。

## 4.5 画像の保存

このバージョンでは、4 種類の保存操作を使用できます。操作ボタンについては、[図 4-1](#)を参照してください。

- 現在のアクティブ画像の変更を保存するには、**[保存]**を選択します。
- 現在のアクティブ画像を新しいファイルとして保存するには、**[保存]**の横にあるドロップダウンアイコンを選択し、**[名前を付けて保存]**を選択します。
- 編集した複数の画像を保存するには、**[保存]**の横にあるドロップダウンアイコンを選択し、**[一括保存]**を選択して、画像にチェックマークを付けます。
- 編集した複数の画像を保存するには、**[保存]**の横にあるドロップダウンアイコンを選択し、**[名前を付けて一括保存]**を選択して、保存の操作を選択します。

## 第5章 レポートをエクスポート

画像の分析結果は、他の用途のためにレポートファイルにエクスポートできます。このクライアントバージョンでは、1つの画像または複数の画像のレポートのエクスポートがサポートされています。機能の操作ボタンについては、[図 4-1](#)を参照してください。

### 1つの画像のレポート

1. 左側の画像リストから画像を選択し、**[レポート]**を選択します。
2. レポートパラメーター、ロゴ、レポート形式、ファイル名、場所（保存パス）を設定し、エクスポートを確認します。

### 複数の画像の概要レポート

1. **[レポート]**の横にあるドロップダウンアイコンを選択し、**[一括レポート]**を選択します。
2. **[画像のタイプ]**を選択し、レポートの画像にチェックマークを付けて、**[OK]**を選択します。
3. レポートパラメーター、ロゴ、レポート形式、ファイル名、場所（保存パス）を設定し、エクスポートを確認します。

### ロゴと形式のレポート

このバージョンでは、ファイルロゴの変更が可能です。ロゴパラメーターの横にある**[+新規追加]**を選択し、必要なロゴの画像をアップロードします。ファイル形式には、\*.pdf と\*.otd、\*.xlsx を使用できます。\*.otd 形式のファイルは、Microsoft Word または同様のソフトウェアで開いて編集できます。

